The moment of mjuk!

—あなたが輝く時間を、mjukと呼びます—

オレンジ色の炎は
いつだって家族の真ん中で
ゆらゆらゆらと、輝いていた。

小さい頃に読んでもらった絵本や物語には
暖炉や薪ストーブがよく登場した。
それは華やかな外国の、仲良し家族の象徴で、
ストーリーの中で、大切な役割を果たすこともあった。
だから、小学生になる春に引っ越しが決まり、
新しい家に薪ストーブがあると知った時、
私はものすごく嬉しくて、ドキドキした。
リビングに置かれた赤い薪ストーブ。
気が付くと、私たちはいつもそこに集まっている。
「あたたかい」という言葉ひとつにも、いろいろな種類があることを
私は心に刻みながら大きくなった。
大好きな母さんが隣のキッチンで料理をしている。
優しい父さんが、火を操っている。
パチパチという音、オレンジ色の炎、いい香り…
その「あたたかい」は、私をまるごと温めた。

今日は母さんの誕生日。
父さんと相談をして、みんなが大好きな焼きリンゴを作ることにした。
しっかり暖まったリビング。母さんは買い物へ。予定通りだ。
作り方はわかっている。いつだって横で見てたから。
母さんはびっくりするだろうか。
「ありがとう」と抱きしめてくれるだろうか。
絵本に出てくる、素敵な家族とおんなじだ。
ドアが開いたら、「おかえりなさい」と走って行こう。

mjuk Special Site
www.swedenhouse.co.jp/mjuk/

mjuk(ミューク)について素敵な情報を
更に掲載しています。ぜひご覧下さい。

ミューク　検索